|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  **目的**1）MTDLPの使い方を理解する。　-1：個別対応力を高める　-2：マネジメント力を高める　-3：継続的にMTDLPを実践する2）自己の介入を客観的に振り返る。3）生涯教育事例報告の参考とする。**ファシリテーター要件**1）MTDLP指導者2）暫定ファシリテーター要件を満たす者**※ファシリテーターの役割**1）焦点を当てた生活行為が、対象者にどのような意味を持つか明確にする。2）発表者が改善に向けた行動を起こせるように誘導する。3）事例報告の骨格を明確にし、シートの記載方法を具体的に提案する。4）タイムスケジュールを管理する。5）対象者の課題から、組織・地域の課題まで抽出できるように促す。 |

|  |
| --- |
| （案）MTDLP事例発表進め方MTDLP実践者研修修了要件事例検討会| 旧スッテプ3　　2017.12.01. |

**今回のタイムスケジュール**（2017.00.00.）**• 本日のタイムスケジュール説明****•事例作成展開（案）についての説明** **12：30～12：50** 自己紹介・タイムスケジュールの確認・事例作成展開（案）についての説明**12：50～13：35**1事例目**13：35～14：20**2事例目**14：20～14：30 　　　休憩****14：30～15：15**3事例目**15：15～16：00** 　　　4事例目**16：00～** 　　　振り返りとまとめ**発表者事前提出資料の確認**1）生活行為向上マネジメントシート　　（用紙指定有）2）事例の概略や経過をまとめた抄録 （用紙指定無）①事例のテーマ 　　　　　　　②基本情報（事例紹介） ③作業療法評価 　　　　　　④作業療法計画 ⑤介入経過 　　　　　　　　　⑥結果 　　　　　　　⑦考察3）事例作成展開案（2017.12.01.）（用紙指定有）　　　「事例作成展開案」（以下、シート）は、広島県作業療法士会独自の取り組みです。　事例検討会では、発表者に事前に作成して頂いたシートを他参加者とファシリテーターと一緒に確認し、日本作業療法士協会の事例報告の合格を目指します。 |